

令和元年度臨時総会 議案書

日時：令和元年9月27日(金)午後5時30分～

場所：北沢タウンホール 3階ミーティングルーム

次 第

(1)開会

(2)議長選任

(3)議案審議

第1号議案 平成30年度事業報告について……………p.1

第2号議案 平成30年度決算、監査報告について……………p.31

第3号議案 令和2年度補助金予算要望について……………p.32

(4)報告

第1号報告 会員入会について……………p.36

第2号報告 せたがやシニア現役プロジェクト 3年間の総括について……………p.37

第3号報告 令和元年度せたがやシニア現役プロジェクト中間報告について…p.42

第4号報告 令和元年度イベント「大人の学園祭」について……………p.46

第5号報告 世話人会からの報告(総会の開催時期について)

(5)団体PRタイム

(6)閉会

第1号議案 平成30年度事業報告について

(1)プロジェクト

(プロジェクト)

第7条 会員は、第2条に規定するネットワークの目的を実現するため、生涯現役の社会づくりを推進し、広く区民に呼びかけるプロジェクトを提案・実施することができる。

2 プロジェクトは、ネットワークに加入している2団体会員以上が共催・協力・連携等により実施する事業又は団体会員が単独で実施する事業とする。ただし、団体会員が単独でプロジェクトを実施する場合には以下に掲げる条件を満たさなければならない。

(1)内容が社会貢献にふさわしいものであること。

(2)収益を目的にしないこと。

(3)団体の経常的な活動ではないこと。

3 プロジェクト支援金額及び件数は別途世話人会が定める。

4 同一団体、同一テーマでのプロジェクトの応募は3年を上限とし、3年を超えるプロジェクトについては別途世話人会で協議する。

5 プロジェクトの実施希望団体は、計画案を原則としてプロジェクト実施前年度の2月又は実施年度の7月までに世話人会に提出する。

6 世話人会でのプロジェクト承認をもって、プロジェクトの構成員が推薦する者が「プロジェクトリーダー」となる。

7 プロジェクトの実施に先立ち、会員にプロジェクトの参加募集をすることができる。

8 プロジェクトに関するすべての権限及び責任は、プロジェクトの構成員に帰するものとする。

9 プロジェクトリーダーは、世話人会にてプロジェクトの進行状況報告を行い、総会にて成果報告を行うこととする。

【参考】平成30年度プロジェクト一覧

| 番号 | プロジェクト名 |
|----|---|
| 1 | IT なんでも相談コーナー |
| 2 | Facebook #100年ずっ友プロジェクト～人生100年時代のSNSいきいき活動～ |
| 3 | 生涯現役シニア活動研究会 |
| 4 | サルサダンスで健康と仲間を作ろう |

平成30年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書

| | |
|---------|---|
| プロジェクト名 | IT何でも相談コーナー |
| 開催日時 | 4月13日・5月11・25日 6月8・22日 7月13・27日 8月10・24日 9月28日 10月26日 11月9日 (会場の都合で12回で終了) |
| 会場 | ホームクレール世田谷中町コミュニティプラザ1階 |
| 事業主体 | ① NPO法人シニアSOHO世田谷 ② 株式会社ニッポンダイナミックシステムズ |
| テーマ | ホームクレール世田谷中町に居住するシニア世代および周辺地域の区民へのIT支援 |
| 趣旨 | ① 生涯現役シニアがITのスキルを活かして地域貢献 ② ホームクレール世田谷中町に居住するシニア世代および周辺地域のシニア世代のITリテラシー向上のサポート ③ 生涯現役シニアの居場所と出番づくり |
| 事業内容 | ① 内容：生涯現役シニアがホームクレール世田谷中町のコミュニティプラザの一画をお借りして月2回IT何でも相談コーナーを開催 ② 目的：シニア世代のITリテラシー向上および笑顔のコミュニティの形成 ③ 実施：@30分/回×3人×3回×3か月 |
| 今後の展開 | 平成31年度事業の継続を考えています |
| 会計報告 | 収入：64,000円 受講料：@500円/回/名(30分)×9人×12回=54,000円 生涯現役ネットワーク補助金：10,000円 |
| | 支出：64,000円 講師謝礼：@750円×6名×12回=54,000円 チラシ印刷代および雑費：10,000円 |

平成30年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書

| | |
|---------|---|
| プロジェクト名 | Facebook#100年 ずっ友 プロジェクト～人生 100 年時代の SNS いきいき活動～ |
| 開催日時 | 5月27日（キャロットタワー午前・午後） 6月18日・25日（赤堤生涯学習センター） |
| 会場 | キャロットタワー3階生活工房および赤堤生涯学習センター |
| 事業主体 | ① NPO法人シニアSOHO世田谷 ② 優遊会 |
| テーマ | 豊かな暮らしを楽しむ大人のためのFacebook |
| 趣 旨 | 1. 最近シニア世代のFacebookの利用が増えています 2. 家族や友人の近況報告、趣味や関心に基づくコミュニティです 3. 興味はあるが個人情報やセキュリティで躊躇されているシニアにFacebookを安全に使い始める大事なヒントをシニアに学んでいただきます |
| 事業内容 | 目的：生涯現役シニアにFacebookを安全に使い始めていただきます 内容：シニア講師がシニアにやさしく教えるFacebook講座 |
| 今後の展開 | ① 生涯現役シニアがFacebookで情報の収集・発信ができるようになります ② 生涯現役シニアが新しいつながりや交流の機会を得るチャンス ③ 生涯現役シニアが笑顔で生きがいを持ちいきいきと地域で活動 |
| 会計報告 | <u>収入：93,200円</u> ・Facebook ジャパン様支給：83,200円 （内訳は支出欄の講師謝礼・会場費ご参照） ・生涯現役ネットワーク補助金：10,000円 ・参加者受講料：無料 |
| | <u>支出：93,200円</u> ・講師謝礼：@10,000円×2名×4回=80,000円 ・部屋代：@100円×2部屋×4時間×4回=3,200円 （キャロットタワー生活工房打合せおよび機材メンテナンスを含む、赤堤生涯学習センターは無償） ・テキスト代：無料（Facebook ジャパン様無償支給） ・チラシ代および雑費：10,000円 |

平成30年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書

| | |
|---------|---|
| プロジェクト名 | 生涯現役シニア活動研究会 |
| 開催日時 | 2ヶ月に1回程度の会合開催（または活動） |
| 会場 | |
| 事業主体 | 主体となる団体：世田谷地域デビューの会 連携する団体：NPO法人せたがや移動ケア せたがやすまほ研究会 |
| テーマ | 地域デビューを再考する |
| 趣 旨 | 2007年社会的な問題課題として取り上げられた団塊世代の退職に伴う地域の受け入れが色々な形で行政は積極的な施策を展開した。 しかしながら、どこでも思うような成果がでなかった。 ここで、もう一度地域デビューのあり方を検討し、今後の取り組み・方策を提案する。 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・世田谷区の取り組みを再確認 ・現状の問題点を抽出・確認 ・他の自治体の取り組み等の情報集約 ・他の自治体の取り組みを参考に取り入れる点があるかどうか検討する ・現在進行中の「せたがやシニア現役プロジェクト」との連動を考える ・ハローワークへのはたらきかけを考える |
| 今後の展開 | 上記を考慮のうえ展開を図るところ、「今後の生涯現役ネットワークのあり方」が、問題提起され、これと大いにかかわるとの認識により、アンケート調査（別紙文責：多賀）を行うこととした。 |
| 会計報告 | 収入 0 |
| | 支出 0 |

平成30年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 プロジェクト報告書

| | |
|---------|--|
| プロジェクト名 | ラテン音楽で健康と仲間を作ろう |
| 開催日時 | 平成30年11月2日金曜日 |
| 会場 | ひだまり遊友会館 第6会議室 |
| 事業主体 | NPO法人日本サルサ協会 |
| テーマ | ラテン音楽で健康と仲間を作ろう |
| 趣 旨 | 軽快で明るいラテン音楽を聴いて踊る事で脳と身体を使い認知症予防、介護予防にもなり、心身ともに健康なアクティブシニアを目指す。 |
| 事業内容 | 前半に座学で簡単にラテン音楽の歴史やリズムを学んで頂き、後半で音楽に合わせて身体を動かして、サルサダンスを体験して頂く。 |
| 今後の展開 | 定期的な開催の要望も多数あり、検討したいと思います。 |
| 会計報告 | 収入 参加費 ¥1000 × 8 = 8000 |
| | 支出 広告料 ¥5860 講師 4人 交通費 ¥500 |

(2)補助事業

平成30年度補助事業「大人の学園祭」完了報告書

| | |
|---------|---|
| 事業の名称 | 「大人の学園祭」テーマ「健康を考える」 |
| 事業の実施期間 | 平成30年2月17日(日) 10時～16時 |
| 事業の実施場所 | 成城ホール、4階会議室A、B、C、DおよびE |
| 参加人数 | 約300名 |
| 本事業のねらい | <ul style="list-style-type: none">・せたがや生涯現役ネットワークの目的である地域活動への参加促進と活動機会の拡大のためには、1人1人の健康が大切である。そのために今年度は「健康を考える」をテーマに参加団体が協力しこのイベントを開催した。・本イベントの講演や団体活動の紹介展示・体験をきっかけに参加者の好奇心やチャレンジ精神を呼び覚まし、日々の生活の中で社会活動に参加してもらうことを目的にした。 |
| 実施概要 | <ul style="list-style-type: none">・特別講演では「まさかり投法」で名を馳せた村田兆治氏を招き、「人生に引退なし」のテーマでお話をいただいた。・ホールの舞台では6団体のパフォーマンス(午前中)、4階各会議室では17団体の活動紹介展示、6団体の来場者参加型実演(健康を考える部屋)、また、休憩室も設置した。 <p><u>1階成城ホール舞台(9:40分開場)</u></p> <p>10:00～ 舞台を使用したパフォーマンス6団体</p> <ul style="list-style-type: none">➢ 「野鳥ボランティア」講演『世田谷の野鳥』➢ 「中野ブラザーズタップダンス連盟」タップダンス実演➢ 「日本サルサ協会」サルサダンス実演➢ 「劇団・せたがや創作紙芝居」演目『世田谷城と招き猫』➢ 「世田谷シニア現役プロジェクト」年間活動報告、「せたがや暮らし」アプリ紹介➢ 「[ご当地] 家族会」落語 <p>《全員退室》</p> <p>12:00～午後の部開場(大勢並んだ為、開場を早めた)</p> <p>生涯現役ネットワークを紹介したフォトムービーを上映。</p> <p>13:40～、実行委員長小川氏、区議会議長三井氏の挨拶</p> <p>14:00～15:00 村田兆治氏特別講演会 一般参加料1人500円</p> <p>主催: せたがや生涯現役ネットワークイベント実行委員会 共催: 世田谷区</p> <p><u>1階ロビー販売</u></p> <p>9:45～15:30 「和綴じの会いろは」「食・生活・安全未来協会」「NPO法人えこひろば」「劇団・せたがや創作紙芝居」が出店販売</p> |

売上合計 62,470 円

4階 (10:00~16:00)

会議室A お休み処としてお茶とお菓子を提供

会議室B スタッフ控室

会議室C・D 団体活動紹介 (一部景品抽選会 11:00~16:00)

会議室E 「健康を考える部屋」(体験コーナー)

参加団体数: 23 団体

本イベントの実施までの経緯

平成 29 年度臨時総会でイベント 4 年計画が承認され、今年度はその 2 年目にあたる。

4月6日 平成30年度総会でせたがや生涯現役ネットワーク補助事業の実施を提案、承認された。

6月8日 ネットワーク加盟団体宛に実行委員募集通知送付
応募した実行委員の中から実行委員責任者が決定

6月26日 第1回イベント実行委員会

☆タイトル「大人の学園祭」テーマは「健康を考える」

☆日時: 31年2月17日(日) 会場 成城ホール確保済み

7月24日 第2回イベント実行委員会

- ・各コーナーの大枠を決める。
- ・参加する団体を募集する。
- ・「特別講演」講演者の検討

9月7日 第3回イベント実行委員会

- ・講演者: 村田兆治氏
- ・チラシデザイン、部数を検討
- ・募集方法: はがき、FAX、インターネット、電話に決定

9月20日 せたがや生涯現役ネットワーク 30 年度臨時総会
「大人の学園祭」についての進捗を説明

10月18日 第4回イベント実行委員会

- ・チラシデザインの細部検討、景品のお願い
- ・各実行委員の役割手順書を作成

11月19日 第5回イベント実行委員会

- ・入場料500円に決定
- ・チラシデザイン決定、イベント全体版6000部、特別講演版6000部の2種類を作成、ポスターは作成せず。
- ・各部署の手順書、4階各部屋のレイアウトの再確認

- ・景品数量 247 個 (予定)
- ・4 階展示参加団体の机の位置を来年 1 月に抽選する (予定)

12 月 25 日 第 6 回イベント実行委員会

- ・各部署の手順書見直し、役割分担確認

1 月 25 日 第 7 回イベント実行委員会 成城ホールにて

- ・参加団体への説明会 (欠席団体には資料郵送)
- ・4 階展示参加団体の机の位置を抽選する。
- ・参加団体へ講演会招待券を 1 団体 2 枚配布

1 月 31 日

- ・不参加団体へチラシと招待券 (2 枚) を送付

2 月 17 日 晴れ 「大人の学園祭」開催

- ・団体の活動紹介のパンフレット、当日のプログラム、アンケート用紙などを配布。団体紹介の広報に努める。
- ・ネットワーク参加団体から当日実行委員として運営スタッフ 59 名の協力を得られ、受付、1 階物販、講演、舞台パフォーマンス、4 階、抽選、会計・総務などに分かれ各部署に責任者をおき事業を遂行した。

事業成果の考察

(1) 村田兆次氏講演会について

- ▶参加者：一般 169 名、招待約 44 名 (団体) 6 名 (個人)
- ▶電話 (区役所受付) 申込 69 名、FAX・メール 148 名、事前申込者合計 217 名 (実際参加率約 78%)
- ▶アンケート有効数 60 通 (特別講演終了後回収)
特別講演：「大変良かった」(74%)
- ・圧倒的に男性の入場者が多く偏りが見られた。男性は講演が終わるとすぐ帰ってしまう傾向があり、4 階などに足を運ばない。
- ・後ろの方に立ち見ができるほど大勢参加された。やはり知名度のせいかな。

(2) 組織運営について

- ・実行委員+運営スタッフ 59 名の体制で実施し、イベント経験者を中心にスケジュール、組織、役割分担などを決めた。各責任者が担当部署の手順書を作ったことにより、時間の流れに応じた作業の流れが明確になったと思う。
- ・申込方法はインターネット、電話、FAX、葉書も採用し広く応募が出来るよう配慮した。
- ・当日の運営スタッフもタイムスケジュール、役割分担にもと

づき、手順書に従いスムーズに運営できたと思う。

- ・後片付けも役割を決めたので問題なく片付けが出来た。
- ・運営するにあたり、パソコン、インターネット、広報などの専門家の方々の多大な御協力をいただいた。

(3) 広報について

- ・チラシ印刷は広報担当者の尽力により安くきれいなカラー印刷のチラシが早期に入手出来たので早めに配布することができた。イベント全体版 6000 部、村田さん版 6000 部印刷。
- ・各戸配布の区報の周知力は強力。みんなの広場ではなく紙面の中で掲載できたことの効果は大きい。
- ・参加者をさらに増やすために全体版 6850 枚のチラシを増刷し 1 週間前に毎日新聞、日経新聞に折り込みを行った。

(4) 講演会参加費の徴収について

- ・参加費を前年度の 300 円→500 円にしたが影響はなかった。
- ・多数の参加者を短時間で入場していただくために葉書、インターネットの写しを持参した人は名簿チェックなしで入場したので混乱はなかった。

《反省会》

<イベント終了後、成城ホール会議室で実施、41 名参加>
反省会で述べられた意見は以下のとおり。

- ・4 階休憩室に担当者をつけるべきだ。
- ・成城ホール入口に看板を置くべきだ。
- ・舞台パフォーマンスは 6 団体だと厳しい。5 団体が望ましい。
- ・講演会の半券を見せれば再入場できる旨の周知が必要。
- ・1 階と 4 階でハンディマイクを使い、他の階の状況を案内すれば集客に役立つ。
- ・実演参加型のワークショップをもっとやればよい、など。

全体感想

・ネットワークイベントを 29 年度～32 年度の 4 年計画で考え 29 年度 (趣味)、30 年度 (健康)、31 年度 (環境)、32 年度 (福祉) と変化を持たせながら、全団体がいずれかの年度でイベントの核となってもらい、それが参加団体の発展につながる素晴らしいイベントだと思いました。また、毎年参加団体の協力を通して絆が深まり、今後の活動にプラスになることは間違いありません。

今後の課題

- ・加盟団体がやりがいを持ち、来場者が加盟団体の活動を通して生きがいを持つというお互いが呼応した関係の構築をめざす。
- ・4 階体験コーナー(会議室 E) 参加率 16%、抽選会参加者

61%の数字が逆転することが本来の目的であることを踏まえ、体験コーナー、展示コーナーの内容を検討する。

- ・最近加入いただいた「野鳥ボランティア」「中野ブラザーズステップダンス連盟」などのご活躍に期待したい。
- ・チラシ、広報活動をベースに区民1人1人の繋がりが重要である。そのために1人1人が健康で生きがいをもちながら活動できる地域づくりをめざすことが最大の課題である。

平成30年度補助金事業「大人の学園祭」予算・実績報告

【収入】

| 費目 | 予算額 | 実績額 | | | 増減額 | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------|------------|--------|------------|
| | (A) | 収納済額(B) | 未収納額(C) | 計(B+C)=(D) | (D-A) | |
| 講演会参加費 | 90,000 | 84,500 | 0 | 84,500 | -5,500 | @¥500×169人 |
| 世田谷区補助金 | 400,000 | 400,000 | 0 | 400,000 | 0 | |
| シニア現役プロジェクト | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 前回繰越し・利息 | 0 | 4 | 0 | 4 | 4 | 受取利息 |
| 合計 | 490,000 | 484,504 | 0 | 484,504 | -5,496 | |

【支出】

| 領収書番号 | 費目 | 予算額(E) | 決算額(F) | 実績額の財源内訳 | | 増減額(F-E) | 備考 |
|-------|------------|---------|---------|----------|----------------|----------|------------------------|
| | | | | その他の収入 | 区補助金 | | |
| ① | 講師講演料 | 200,000 | 200,000 | 0 | 200,000 | 0 | 講師 村田兆治氏 |
| ② | 接遇費 | 15,000 | 9,729 | 9,729 | | -5,271 | 休憩室茶菓子代 |
| ③ | 交通費 | 50,000 | 59,000 | 36,000 | 23,000 | 9,000 | 実行委員・スタッフ 59名×1000円 |
| ④ | 広告費①デザイン費 | 20,000 | 20,000 | 0 | 20,000 | 0 | チラシ2部 |
| | 広告費②チラシ費 | 100,000 | 75,019 | 4,019 | 71,000 | -24,981 | 印刷代・新聞折込み料 |
| | 広告費③ポスター印刷 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |
| ⑤ | 通信費 | 5,000 | 18,483 | 17,683 | 800 | 13,483 | 切手代・FAX代・郵送料 |
| ⑥ | 事務費 | 30,000 | 14,251 | 14,251 | | -15,749 | 消耗品費・事務用品費 |
| ⑦ | 保険料 | 10,000 | 1,890 | 1,890 | | -8,110 | |
| ⑧ | 団体補助費 | 60,000 | 50,000 | | 50,000 | -10,000 | 25団体×2000円 |
| ⑨ | 租税公課 | 0 | 200 | 200 | | 200 | 印紙代 |
| ⑩ | その他 | 0 | 19,554 | 732 | 18822 | 19,554 | 振込料・撮影代・めくり制作代 |
| 合計 | | 490,000 | 468,126 | 84,504 | <u>383,622</u> | -21,874 | |

※ 区補助金返還額:400,000円-383,622円=16,378円

2 せたがやシニア現役プロジェクト完了報告書

| | |
|---------|---|
| 事業の名称 | せたがやシニア現役プロジェクト |
| 事業の実施期間 | 平成30年4月13日から平成31年3月31日 |
| 事業の実施場所 | ひだまり友遊会館ほか |
| 参加人数等 | <p>地域の仲間づくり講座 年間2回開催</p> <p style="padding-left: 40px;">参加者数 第1回（春開催）13名、延べ55名 第2回（秋開催）30名、延べ93名</p> <p>地域活動体験講座 参加者数 21名、延べ78名</p> <p>iPadアドバイザー養成講座 参加者数 23名、延べ92名</p> <p>iPad講座（4町会） 参加者数 35名、延べ103名</p> <p>HP作成支援PC講座（4町会） 参加者数 17名、延べ50名</p> |
| 事業の実施結果 | <p>せたがやシニア現役プロジェクトの今までの経緯：</p> <p>平成27年4月に始まった生涯現役ネットワークの有志による「生涯現役社会参加に向けたシニアの社会参加推進」の検討が母体となって、平成27年度臨時総会（平成27年9月16日開催）で「せたがやシニア現役プロジェクト」が承認され、平成28年度から3年計画のプロジェクトとしてスタートした。</p> <p>趣旨は、せたがや生涯現役ネットワークが主体となり、(1)地域活動の担い手発掘やリーダー育成を行うとともに、(2)ITを活用してシニアライフの充実を図り、もってシニア世代のさらなる社会参加を推進することにある。事業費は全額世田谷区からの補助金を見込み、世田谷区はその2分の1について東京都補助金を申請している。</p> <p>本年度は3年目であり、平成30年度総会（平成30年4月6日）で承認されて実施された。</p> <p>せたがやシニア現役プロジェクトの概要（30年度）</p> <p>名称：せたがやシニア現役プロジェクト</p> <p>事業内容：</p> <p>(1) 地域活動の担い手となる人材の発掘と育成</p> <p style="padding-left: 20px;">①まち歩きを通じた40歳からの仲間づくりと人材発掘</p> <p style="padding-left: 20px;">定年を迎えてから地域活動を始めるのでは、地域活動の担い手となるには遅いという考えから、参加のハードルが低いまち歩きを主体にした講座を開催する。定員45名×2回実施。</p> <p style="padding-left: 20px;">②地域活動担い手の育成</p> <p style="padding-left: 20px;">せたがや生涯現役ネットワークには加盟団体が55団体あり、多様な活動をしている。加盟団体への訪問と体験を通じて、定年後、主体的に地域活動に参加するためのきっかけづくりや将来の地域活動団体リーダーの育成を目指して取り組む。講座内容は地域活動リーダーを講師とした講習や興味をもった団体への訪問、実際に活動を体験して感じたことの発表など。定員30</p> |

名×1回実施。

(2) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

①iPadアドバイザー養成講座の実施

iPad講座のアドバイザー（講師）を養成し、翌年度以降の講座の担い手や地域で活躍する人材を育成する。定員10人×1回（8コマ）実施。

②iPad講座の実施

地域活動団体の初心者、シニア向けにiPad講座を行う。定員10人×1回（8コマ）実施。

③既存の有用なアプリやサイトにすぐにアクセスできるプラットフォームの作成による生活安全・便利情報の提供

情報検索に不慣れな高齢者を対象に、必要な情報に簡単にアクセスできるような検索プラットフォーム（せたがや暮らし）を作成し、生活安全やお出かけに資する情報を提供することにより、シニアの社会参加促進を支援する。

④地域活動団体のHP作成支援・評価・検証による団塊世代等の活動参加促進

前年度に作成したモデル的なHPを活用して、HPを持たない地域活動団体（町会や地域団体）を対象に、新たにHPを作成し、団塊世代など新たなシニア層のさらなる活動参加を促進する。2団体を対象に選び、4日間8講座を実施。

事業期間：平成28年度から3年間（期間終了後においても自主的に活動を続けていくことを目指す。）

事業実施主体：せたがや生涯現役ネットワーク

所要経費予算：平成30年度 3,707,600円
（補助金）

組織・運営：

せたがやシニア現役プロジェクトの代表は小川正徳とし、実行委員を次の2つのグループに分けて運営した。

せたがや生涯現役ネットワーク

せたがやシニア現役プロジェクト（代表：小川正徳）

(1) 人材育成グループ（責任者：小川正徳）

仲間づくり：小川、佐伯、窪田、須藤、志水

地域活動養成講座：市村、小川、須藤、多田、佐伯

会計：佐伯京子

延べ10名の実行員で取り組んだ。

(2) ITグループ（責任者：真貝高三）

iPadアドバイザー養成講座：岡崎宏

iPad講習会：菅野達夫

プラットフォーム：土屋有二

HP作成支援：真貝高三

PC講習：藤田秀一

会計：石田恭子

全体の会計は小畑崇に委託

日程：

(1) 地域活動の担い手となる人材の発掘と育成

①まち歩きを通じた40歳からの仲間づくりと人材発掘

〈第1回/春期開催 40歳からの社会参加・入門〉

会議

5月21日 ひだまり友遊会館にて6名

講座広報について検討

講座

6月2日 地域のNPO活動紹介、自己紹介、まち歩きのコース紹介

介

6月9日 地域体験者の講演、他己紹介、まち歩きコース応募

7月14日 4コースのまち歩きレポート発表、グループ交流

地域の魅力発見ツアー：6月16日から7月7日の計4回

6月16日 まち歩きフリープラン

6月23日 学芸員と歩く野毛大塚古墳と等々力溪谷

6月30日 下北沢能楽堂体験

7月7日 桜新町と駒沢給水塔を歩く

〈第2回目/秋期開催 仲間づくり大作戦〉

会議

9月18日 ひだまり友遊会館にて5名

講座内容について検討

講座

9月29日 地域のNPO活動紹介、自己紹介、まち歩きコース紹介

10月6日 地域活動体験者の講演、他己紹介、まち歩きコース応募

募

11月10日 まち歩きレポートの発表

地域の魅力発見ツアー：10月13日から11月3日の計4回

10月13日 フリープラン

10月20日 施設職員と歩く大蔵運動公園

10月27日 世田谷区誌研究会と歩く成城

11月3日 おいしいパン屋さん巡り

②地域活動担い手の育成

〈地域活動体験講座〉

会議

6月28日 ひだまり友遊会館にて6名

チラシについて検討

7月19日 ひだまり友遊会館にて8名
講座内容について検討
講座：9月15日から11月24日の計4回
9月15日 講座のガイダンス
9月22日 体験受け入れ団体のガイダンス
11月17日 活動体験の報告・交流会
11月24日 事業計画、資金の集め方、団体の運営方法など

団体訪問受け入れ団体（14団体）

世田谷区誌研究会、劇団・せたがや創作紙芝居、世田谷ウォーキングフォーラム、駒沢給水塔風景資産保存会、世田谷環境学習会、NPO法人えこひろば、世田谷老人問題研究会、NPO法人せたがや移動ケア、せたがやすまほ研究会、コミュニティご縁、老人給食協力会ふきのとう、野鳥ボランティア、優遊会、世田谷地域デビューの会

各団体の受け入れ人数

世田谷区誌研究会 3名
劇団・せたがや創作紙芝居 5名
世田谷ウォーキングフォーラム 6名
世田谷環境学習会 1名
NPO法人せたがや移動ケア 3名
せたがやすまほ研究会 2名
コミュニティご縁 2名
老人給食協力会ふきのとう 6名
野鳥ボランティア 6名
世田谷地域デビューの会 3名

述べ37名が各団体主催の活動やイベントに参加。
その結果、17名が各団体へ加入した。

(2) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

基本コンセプトの検討

4月24日

ひだまり友遊会館にて5名参加、ITグループとしての年間予定、予算、予算月割り等について皆で情報共有した。

町会向けHP作成支援については、4月20日に町総連の会議認されHP支援募集の案内を全町会・自治会宛に郵送にて文章を発送した。また、7月実施予定の「iPadアドバイザー養成講座」募集チラシを区の全施設に配布手続きを行った。

①iPadアドバイザー養成講座の実施 会議

5月12日

ひだまり友遊会館にて5名参加、養成講座の準備を検討。方向性としては、講義時間の前半30分は講師の講義とし、残り時間をワークショップもしくはケーススタディ形式で参加者の満足度を高めたい。現在8名の参加申し込みがあり、6月15日の区報掲載告知で数名の応募を期待して、目標の10名を確保したい。

6月14日

ひだまり友遊会館にて4名参加、講座内容及びテキスト関係を検討。現在13名の応募を確認した。

6月16日

ひだまり友遊会館にて4名参加、講座の進め方として、今回は設問を設けて話し合う形式を重点的に実施する方向で確認。応募数も順調に推移しており、最終的には20名前後を予想。

6月30日

ひだまり友遊会館にて5名参加。講座の役割分担の確認と会場のレイアウトの確認。昨年度の養成講座修了者に声をかけ、サポーターとして参加していただく。最終的には22~23名の応募を予想。

講座（受講者23名、いずれもひだまり友遊会館にて実施）

7月7日 第1回

iPadの基本操作、講師の心得、カメラ機能、写真の編集機能など
「初心者のつまずきは？」をテーマにグループ討議

7月14日 第2回

標準アプリ、インターネット、SNSなど

「安全なアプリの見極め方がわからない？」、「SNSを安全に使うための注意点？」、「SNSが怖くて使えない？」をテーマにグループ討議

7月21日 第3回

メールの活用、iPadの基本機能、災害時の活用など

「iPadを購入するときの注意点」「メールの設定」「メールに写真を添付するときのサイズは」「メールの添付された資料の保存」「メールとメッセージの違い」「災害時のIT利用について」などをテーマにグループ討議

7月28日 第4回

iPadの設定、外部接続機器、SIMフリートラブル対策について

「iOS のアップデートが面倒くさい」、「初めてスマホタブレット購入者にとってセルラーか WiFi のどっちか」、「最近バッテリーの減り方早くなった」などをテーマにグループ討議
最後に地域デビューの意義について考え方を紹介（アドバイザーの心得、受講生感想のまとめなど）

8月18日 アドバイザー補講

前回は、台風の影響で講座に参加できなかった2人について補講講座を実施

11月3日 アドバイザー交流会（11名参加）

養成講座の振り返り、修了者の活躍の様子、今後の活動希望について情報交換、テーマ別の勉強会について議論

11月16日 デジタル遺産研究会（第1回 4名参加）

デジタル遺産委について幅広く議論した。

12月15日 デジタル遺産研究会（第2回 5名参加）

SNS の退会について議論した。

1月19日 デジタル遺産研究会（第3回 5名参加）

金融分野のデジタル遺産について議論した。

前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍

7月7日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

7月14日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

7月21日：アドバイザー養成講座に参加（2名）

7月28日：アドバイザー養成講座に参加（3名）

②プラットフォームの作成

会議

5月23日

NDSにて9名参加。昨年度作成した「せたがや暮らし」（せたくら）のWEB版を基にアプリ化するにあたり、スケジュール及び追加する機能について検討。

8月8日

ひだまり友遊会館にて4名参加。アプリ化にあたって追加する5つの機能仕様を確認。コスト的、時間的に可能か検討して戴くとした。

8月30日

NDSにて10名参加。アプリ化について、前回の開発項目を一つずつ検討。NDSで、コストや開発期間を鑑み、予算内で出来るのは

どれかを検討してもらおう。9月14日までにNDSは見積もりを提出し、プロジェクト側はその内容を確認し開発依頼を出す。

9月28日

SEJOURにて4名参加。アプリ作成内容の概要が決まり、それに基づいた工数も提出された。提示された内容で正式見積もりを依頼。納品予定は、12月になる予定。

アドバイザー交流会を11月3日に開催すること、町会HP作成の進捗状況を確認した。

11月28日

ひだまり友遊会館にて5名参加。NDSよりAndroidアプリのベータ版が出来たとの通知を受け、登録申請をすることにしたが、申請時にカード登録など必要であり、手続きが複雑なので一度NDSの児島さんとの打ち合わせを要請した。

12月4日

NDSにて6名参加。NDSの児島さんよりAndroidアプリとiOSアプリの登録手続きについて説明を受けた。Androidアプリのベータ版を各デバイスにインストールし、これを基に表記、機能などチェックして、12日までに報告することとした。

12月26日

NDSにて9名参加。チェック内容に基づいて、再度仕様確認と表示方法を検討した。本アプリは、2月の大人の学園祭にて、発表・公開する予定。

1月15日

NDSにて8名参加。iOSアプリのベータ版を各自のiPadにインストールした。アプリを再度チェックし、18日までに指摘事項があれば連絡する。

2月17日

大人の学園祭で「せたくら」正式アプリ版についてのデモを交えて紹介。

③町会 HP 作成支援及び iPad 講座

町会 HP 作成支援対象団体の選定、HP 素案作成、PC 講座検討、iPad 講座検討

会議

6月1日

区役所にて7名参加。町会自治会のHP作成支援申し込みは次の

4箇所である。

- ・宮坂3丁目町会
- ・代沢中町町会
- ・中町4,5丁目町会
- ・玉川田園調布会

当初予定は2箇所であるので HP 支援の応募箇所選定方法について協議した。ヒアリング項目を設定して絞り込みをすることとした。

6月5日

区役所にて3名参加。当初予定は2箇所であるが、4箇所に変更した場合の日程、予算的關係を協議した。区としては、全箇所を支援対象としたい意向があった。

6月9日

ひだまり友遊会館にて4名参加。当初の予算組を少し変更して4箇所実施することとした。4箇所それぞれの担当責任者を決め、12日までに担当箇所にコンタクトして、打ち合わせ日を設定する。

9月15日

ひだまり友遊会館にて3名参加。これから始まる町会 HP 講座の内容と担当者の役割を再確認。また、iPad 講座の内容を確認し、これに伴うテキスト作成なども確認。

10月3日

ひだまり友遊会館にて5名参加。町会の HP 進捗状況を確認。iPad 講座のテキストの準備、アドバイザー交流会の内容について検討。

10月26日

ひだまり友遊会館にて3名参加。
町会向け iPad 講座の趣旨を再確認し、講座内容も確認する。

10月31日

ひだまり友遊会館にて5名参加。町会 iPad 講座の内容と担当の確認。中町4,5丁目町会の進捗状況の確認、アドバイザー交流会の内容確認。

[宮坂3丁目町会]

会議

6月19日

経堂ピーコック1階喫茶店で、5名参加、HP作成支援の講座説明と、当方でHPのひな型を作成するので手持ちの電子データを7月中旬までに欲しいこと。また、講座の日程案をお願いした。

7月30日

経堂まちづくりセンター集会室にて4名参加。町会側から電子データを集め、HPにイメージをまとめたとのことで協議した。これらを受けて当方でHPの原案を作成することにした。

PC講座（いずれも経堂まちづくりセンター集会室）

8月22日

参加者7名。使用するソフトJimdoの説明、アカウントの取り方の説明、HPの基本的な設定&編集など

8月29日

参加者4名。画像の入替、編集、加工など、リンクの設定、表の作成、フォームの編集など

9月7日

参加者4名。管理メニュー、スタイルの変更、背景の変更など、HPの運用、会員への連絡方法など

iPad講座（いずれも経堂まちづくりセンター集会室）

1月19日

参加者7名、iPadの基本操作とゲームアプリ2種を使用して指使いの練習など、Photo Booth,カメラ,写真アプリを使用して、基本的な写真・動画の撮影方法など練習した。

1月26日

参加者5名。メールの使い方、受信・返信の仕方、新規のメールの作成方法など、インターネット検索、せたくらの紹介、町会のHPの説明など

2月9日

参加者4名。災害時の対応、東京都の防災ホームページ、世田谷区の防災メール配信サービスなど、アプリのインストールの仕方、iPad標準搭載アプリの紹介、日常便利アプリの紹介など、

前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍

1月19日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

1月26日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

2月9日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

【代沢中町会】

会議

6月12日

代沢まちづくりセンターで2名参加。HP作成支援の講座説明と、

当方でHPのひな型を作成するので手持ちの電子データを7月中旬までに欲しいこと。また、講座の日程案をお願いした。

PC講座（いずれも代沢まちづくりセンター）

9月28日

参加者4名。使用するソフトJimdoの説明、アカウントの取り方の説明、HPの基本的な設定&編集など

10月12日

参加者4名、画像の入替、編集、加工など、リンクの設定、表の作成、フォームの編集など

10月26日

参加者3名、管理メニュー、スタイルの変更、背景の変更などHPの運用、会員への連絡方法など

iPad講座（いずれも代沢まちづくりセンター）

1月29日

参加者8名。iPadの基本操作とゲームアプリ2種を使用して指使いの練習など、Photo Booth,カメラ,写真アプリを使用して、基本的な写真・動画の撮影方法など練習した。

2月5日

参加者7名。メールの使い方、受信・返信の仕方、新規のメールの作成方法など、インターネット検索、せたくらの紹介、町会のHPの説明など

2月12日

参加者7名。災害時の対応、東京都の防災ホームページ、世田谷区の防災メール配信サービスなど、アプリのインストールの仕方、iPad標準搭載アプリの紹介、日常便利アプリの紹介など

前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍

2月12日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

【中町4,5丁目町会】

会議

6月27日

中町ふれあいの家で2名参加。HP作成支援の講座説明と、当方でHPのひな型を作成するので手持ちの電子データを7月末頃をメドに欲しいこと。また、講座の日程案をお願いした。

PC講座（いずれも中町ふれあいの家）

11月13日

参加者5名。使用するソフトJimdoの説明、アカウントの取り方の説明、HPの基本的な設定&編集など

11月20日

参加者5名。画像の入替、編集、加工など、リンクの設定、表の作成、フォームの編集など

11月27日

参加者5名。管理メニュー、スタイルの変更、背景の変更など、HPの運用、会員への連絡方法など

iPad講座 (いずれも中町ふれあいの家)

2月26日

参加者14名。iPadの基本操作とゲームアプリ2種を使用して指使いの練習など、Photo Booth,カメラ,写真アプリを使用して、基本的な写真・動画の撮影方法など練習した。

3月5日

参加者13名。メールの使い方、受信・返信の仕方、新規のメールの作成方法など、インターネット検索、せたくらの紹介、町会のHPの説明など

3月12日

参加者13名。災害時の対応、東京都の防災ホームページ、世田谷区の防災メール配信サービスなど、アプリのインストールの仕方、iPad標準搭載アプリの紹介、日常便利アプリの紹介など

前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍

3月5日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

3月12日：アドバイザー養成講座に参加（1名）

【玉川田園調布会】

会議

6月22日

玉川田園調布町会会館で3名参加。HP作成支援の講座説明と、当方でHPのひな型を作成するので手持ちの電子データを7月末頃をメドに欲しいこと。また、講座の日程案をお願いした。

PC講座 (いずれも玉川田園調布町会会館)

9月26日

参加者3名。使用するソフトJimdoの説明、アカウントの取り方の説明、HPの基本的な設定&編集など

10月10日

参加者3名。画像の入替、編集、加工など、リンクの設定、表の作成、フォームの編集など

10月24日

参加者3名。管理メニュー、スタイルの変更、背景の変更など、HPの運用、会員への連絡方法など

| | |
|----------------------------|--|
| | <p>iPad 講座 (いずれも玉川田園調布町会会館)</p> <p>12月9日 参加者 12名。iPadの基本操作とゲームアプリ2種を使用して指使いの練習など、Photo Booth,カメラ,写真アプリを使用して、基本的な写真・動画の撮影方法など練習した。</p> <p>12月16日 参加者 10名。メールの使い方、受信・返信の仕方、新規のメールの作成方法など、インターネット検索、せたくらの紹介、町会のHPの説明など</p> <p>12月23日 参加者 9名。災害時の対応、東京都の防災ホームページ、世田谷区の防災メール配信サービスなど、アプリのインストールの仕方、iPad 標準搭載アプリの紹介、日常便利アプリの紹介など</p> <p>前年度のアドバイザー養成講座修了者がサポーターとして活躍 12月9日：アドバイザー養成講座に参加 (1名) 12月16日：アドバイザー養成講座に参加 (1名) 12月23日：アドバイザー養成講座に参加 (2名)</p> |
| <p>事業の成果の具体的内容 (目標と実績)</p> | <p>人材グループ</p> <p>(1) 地域活動の担い手となる人材の発掘と育成</p> <p>① 仲間づくりと人材発掘</p> <p>第1回/春期開催 募集目標と成果 (募集人数 45名) 応募人数 13名 講座参加延べ 28名 ツアー参加延べ 27名 延べ参加者数 55名</p> <p>第2回/秋期開催 募集目標と成果 (募集人数 45名) 応募人数 30名 講座参加延べ 48名 ツアー参加延べ 45名 延べ参加者数 93名</p> <p>昨年度に引き続き、受講生であったメンバーが2名実行委員として運営に携わることになったことが成果である。今年度は例年の傾向とは異なり、春期開催のまち歩きの応募人数が少なかった。そのため、秋期開催のまち歩きでは内容がより魅力あるものとなるように検討を行った。その結果、応募人数を大幅に増やすことができた。</p> <p>② 地域活動担い手の育成</p> <p>地域活動体験講座 (募集人数 30名) 応募人数 21名 講座参加延べ 41名 団体体験延べ 37名</p> |

今年度は応募人数が20名を超え、3年間の中で最も多い受講生数となった。また、受け入れ先団体も新規団体からの申込があったことが成果である。

今年度の受講生も意欲的な方が多く、団体の体験に多く参加していただいた。受け入れ先団体からの評価も高い講座だと感じる。

IT活用グループ

(2) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

① iPadアドバイザー養成講座の実施

(計画予定人員10名>>実施人員23名)

計画では10名を予定したが、応募者が23名と多数の応募となった。応募の動機を見ると、皆さんITに関心があり、ある程度のスキルを持っているので全員を受講者とした。講座は4日間8講座であり、昨年度に使用したテキストを改良して利用した。23名の受講者のうち、終了後アシスタントとして6名程度が集まり、実際にその後のiPad講座などに参加していただき、戦力となった。優秀なアシスタントであり、来年度は正式なスタッフとして活躍が期待される。

② プラットホームの作成

昨年度に作ったプラットホーム「せたがや暮らし」(せたくら)のWEB版をもとに、引き続きNDSに業務委託してアプリ化を図った。WEB版の改良と追加項目の見直しを図り、更に使いやすい仕様の検討をした。会議だけでは不足メールでやり取りしながら、多数のアイデアや意見を交換しながら改修・改善をした。アプリはAndroidとiOSの2種を作成することにした。

2月17日の大人の学園祭にて発表をした。機会あるごとにすまほ研究会のiPad講座や町会向けの講座などで受講者に紹介し、実際に使ってもらったが、概ね好評であった。

今後、「せたがや暮らし」のアプリ版の周知を図るため、チラシを作成し、各団体にも広報活動を実施していく。

③ 町会HP作成支援、PC講座

当初は、2団体を対象にHP作成支援を行う予定であったが、4団体の応募があった。応募団体の選定方法について協議し、ヒアリング項目を設定して絞り込みを図ったが、各団体とも積極的に導入姿勢がみられること、また区として4団体を支援対象とした意向があることから、日程、予算の組直しをして4団体を支援対象とした。

HP作成ソフトは前年度と同様Jimdoを使用して、前年度の教

材も最新版に見直しをした。また、4団体のHPのひな型は、前回同様にブルースカイズに業務委託して作成してもらった。Jimdoはマニュアルが揃っており、またある程度パソコンができる人にとっては感覚的に使えるソフトであるので、ポイントを記載したテキストを作り、むしろ実地に操作を体験していただくことを主に講座を進めた。

PC講座は3日間6講座に組直しをしたため効率よく対応を進めた。講座では受講者にマニュアルHPを自由に操作してもらい、Jimdoの使い方に慣れていただいた。多くの質問があったが、当方で用意したHP素案を町会スタッフが改良し、予想以上に素晴らしいものに仕上げてください。

④ タブレット (iPad 等) 講座の実施

(計画予定人員 10名 >> 実施人員 35名)

一昨年、昨年の経験をもとに、町会向けの講座について検討した。講座の目的は、町会がHPを立ちあげるの、それをiPadで閲覧することができるようにすることである。対象は町会役員を中心に受講していただいた。主にiPad超初心者という設定で、講座内容を考えた。「iPadは面白い」と思ってもらえることを主にして、テキストはポイントのみを記すことにした。

今年度は「せたくら」のアプリが完成したので、それについても紹介し、活用を促した。

参加者は4町会で述べ50名にもなり、中には貸出用iPadが足りなくなる町会もあった。

講座は3日間6講座であり、各町会とも事前の準備を積極的にしてくださり、スムーズな運営ができた。

成果の自己評価

人材発掘グループ

(1) 地域活動の担い手となる人材の発掘と育成

① 仲間づくりと人材発掘

春期開催講座の受講生は13名、秋期開催講座の受講生は33名と、上記での述べたが、今年度は春期開催の応募状況が低調であった。反省点としては、「40歳からの社会参加入門」という募集タイトルが、応募の壁を高くしていたのではないかと考えた。そこで、秋期開催の募集では「40歳からの仲間づくり」へタイトルを戻したところ、33名の応募があった。まち歩きの内容検討等も併せて行った結果だとは考えられるが、受講生を多く集められたことは講座の雰囲気を作ることに良い影響があったと感じる。

② 地域活動担い手の育成

地域活動担い手の育成については、「地域活動体験講座」という

名称で募集を行った。応募は23名あり、この3年間のなかで最も多い受講生数となった。

今回は地域活動体験受け入れ終了後に、受け入れ団体にアンケートを行ったところ、「受け入れ団体と受講者をマッチングさせる大変優れたシステムです。特に個別相談をして興味をもってもらえた方が体験をするという手順が良いと思う」との評価や、「様々なボランティア募集の機会に参加してきたが、地域活動への関心が高い方が集まっていると思う。今回、興味を持ってもらえた方の見学が6名、実際入会につながった方は1名であった」などの感想があった。

アンケートの結果を参考にしながら、次回へつなげていきたい。

IT活用グループ

(2) ITリテラシー向上によるシニアライフ充実サポート

① iPadアドバイザー養成講座の実施

定員10名のところ23名の参加があり、うち2名がサポーターとして活躍している。3年間の経験により、現在のカリキュラムでサポーターが養成できることが分かったので、今後とも継続してアドバイザーの養成を続けていきたい。iPadを所持し、ある程度操作ができる方を優先的に募集していきたい。

養成講座を実施して予定通りサポーターも増えてきているが、今後は、サポーターの活躍できる場の提供が課題となってくる。今年度は受講者を対象にフォローアップを実施し、デジタル遺産についての勉強会を3回開催したが、好評であった。

② プラットホームの作成

今年度は今までに作成したWEB版が好評であったので、それを基に、アプリ化を図った。2月17日に開催された大人の学園祭で発表し、参加者に使っていただいたが、シニアの方の調べものに便利という声があり、利用頻度が多いに高まることが期待できる。

今後の追加修正が可能であるので、利用者の意見を聞きながら、改善をしていきたい。

③ HP作成支援

今回も町会・自治会を対象とし、町総連を通じて区内の全町会にHP作成支援の通知を出したところ、応募は4団体もあった。

今まで応募数が少なく心配していたが、HP作成支援活動がようやく知られてきたのか、今年は4団体も応募してくれた。従来はHPのメリットを感じていても、HP作成ソフトが使い辛いという印象があったが、Jimdoは簡単であるので、少し教えてもらえれば、自分たちで運営ができるという特徴がある。

こうした点も知らせながら、来年度も町総連の協力を得て、HP

作成支援活動をすすめていきたい。

またHP作成支援を行った町会が6団体になったので、次年度はこれらの町会のHP担当者を集めて交流会を開き、フォローアップを兼ねて、HP未設定の町会に向けてHP開設の機運を高めていきたい。

③ PC講座

折角HPを開設しても更新ができなければ意味がない。使いやすいソフトを選ぶことと、更新作業のための人材教育が大切である。こういう趣旨で今までどおりJimdoを採用したが、好評であった。Jimdoもかなり使いやすくなってきたので、今後も、HPソフトはJimdoを使用予定である。

なおPC講座では、受講者が一斉にPC操作をするので、WiFiの遅れが気になる。よりよいWiFi環境が必要であることを痛感した。

④ iPad講座の実施

今回のカリキュラムでは、難しいことは言わずに、iPadの面白さを実感していただくことに主眼を置いた。iPadの使い方については、別途すまほ研のiPad講習会などがあるので、そちらで学ぶというスタンスである。こういった趣旨が活かされたと思う。

今後、町会の方々にいかにHPに関心を持っていただけるかが課題である。

「せたくら」のアプリが完成したので、その紹介を行ったが、便利さを実感していただけたと思う。また、昨今災害が頻発し、その対応方が町会の大きな役目を担っている。その時にHPが役に立つので今後多いに注目されつつある。

補助事業に関わる予算・決算
平成30年度補助金事業「せたがやシニア現役プロジェクト」

せたがやシニア現役プロジェクト—2019年4月度 会計報告

〈作成2019/4/25 小畑〉

1) 2018年4月～2019年3月累計の予算管理と実績について

| | 当初予算(A) | 実績(B) | 差額(A-B) | 進捗率 |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|------|
| 収入 | | | | |
| 世田谷区からの補助金収入 | 3,707,600 (円) | 3,707,600 (円) | 0 (円) | 100% |
| 40歳からの仲間づくり参加費 | 45,000 | 17,500 | 27,500 | 39% |
| 地域活動体験講座参加費 | 30,000 | 16,000 | 14,000 | 53% |
| iPadアドバイザー講座参加費 | 60,000 | 139,000 | -79,000 | 232% |
| 地域活動団体iPad促進講座 | 30,000 | <開催中止> | 30,000 | 0% |
| 銀行利息 | | 12 | -12 | |
| 計 | 3,872,600 | 3,880,112 | -7,512 | 100% |
| 支出 | | | | |
| ①40歳からの仲間づくり | 653,000 (円) | 584,161 (円) | 68,839 (円) | 89% |
| ②地域活動体験講座 | 346,500 | 244,732 | 101,768 | 71% |
| ③地域活動団体iPad促進講座 | 252,000 | 0 | 252,000 | 0% |
| ④iPadアドバイザー要請講座 | 247,500 | 310,000 | -62,500 | 125% |
| ⑤プラットフォーム作成 | 620,500 | 619,616 | 884 | 100% |
| ⑥地域活動団体HP作成支援 | 1,256,500 | 1,495,720 | -239,220 | 119% |
| ⑦IT講座関連経費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 100% |
| ⑧共通経費 | 466,600 | 443,753 | 22,847 | 95% |
| 計 | 3,872,600 | 3,727,982 | 144,618 | 96% |
| 差額(収入—支出) | 0 (円) | 152,130 (円) | -152,130 (円) | |

2) 上記の支出実績額の月別明細は、下記の通り報告します。

| | 支出額合計 (A+B+C) | うち小口現金 (A)人材G | うち小口現金 (B)ITG | うち銀行預金 (C) |
|---------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 2018年4月 | 124,740 (円) | 64,246 (円) | 60,494 (円) | 0 (円) |
| 5月 | 75,953 | 50,880 | 25,073 | 0 |
| 6月 | 310,315 | 140,146 | 96,411 | 73,758 |
| 7月 | 375,011 | 80,000 | 295,011 | 0 |
| 8月 | 316,014 | 59,813 | 256,201 | 0 |
| 9月 | 570,608 | 170,000 | 400,608 | 0 |
| 10月 | 440,952 | 126,979 | 313,973 | 0 |
| 11月 | 264,812 | 117,150 | 147,662 | 0 |
| 12月 | 744,257 | 27,507 | 219,518 | 497,232 |
| 2019年1月 | 147,407 | 0 | 147,407 | 0 |
| 2月 | 230,927 | 32,000 | 198,927 | 0 |
| 3月 | 144,428 | 16,432 | 127,996 | 0 |
| 4月修正 | -17,442 | 0 | -17,442 | 0 |
| 計 | 3,727,982 | 885,153 | 2,271,839 | 570,990 |

3) 2019年3月31日現在の小口現金と銀行預金の残高は、下記の通り報告します。

| | 残高 |
|-------------|---------|
| 小口現金 | |
| 人材G(佐伯様) | 0 (円) |
| ITG(石田様) | 0 |
| 小計 | 0 |
| 銀行預金 | |
| 会計(小畑) | 134,688 |
| 4月修正 | 17,442 |
| 合計 | 152,130 |

【地域活動体験講座】受け入れ団体アンケート報告

平成30年12月31日

生涯現役ネットワーク・人材グループ（小川 正徳）

平成30年9月15日からの人材グループ「地域活動体験講座」で協力いただいた受講生受け入れ団体へアンケートの回答をお願いし、その結果を集計しました。

この講座の目的は、一人でも多くの受講生が団体の活動を知り、興味を持ってもらい、団体への入会を誘うことです。講座では団体からの説明があり、団体と受講生の面談があり、希望する内容のイベントがあれば参加をすることができます。参加して欲しい団体とネットワークが連携した活動の結果が数字に表れているように思いますので、今後の参考にしてください。

| | 受講生受け入れ人数 | 入会者 | 受け入れイベント | 講座への意見 |
|-------------------|-----------|---------------------|-------------------|---|
| 世田谷区誌研究会 | 3 | 不明 | 史跡散歩 | 講座を継続して欲しい。 参加者名簿が欲しい。 |
| NPO法人 えこひろば | 0 | 0 | 布草履づくり他 | 具体的な声掛けを参加者 にする必要があった。 |
| NPO法人 せたがや移動ケア | 3 | 0 28年：3 29年：3 | 三浦半島おでかけイ ベント他 | 継続すべきだが、費用対効 果を評価する必要がある。 |
| ウォーキング フォーラム | 6 | 6 29年：5 | ウォーキング イベント | 受講生と顔を合わせて活 動紹介ができるのが良い。 |
| 世田谷環境学習会 | 1 | 0 | 世田谷みどり散策 | |
| 劇団せたがや 紙芝居 | 5 | 3 28年：1 | 和村塾 (声優の発声) | 活動に参加して、団体活動 を知る仕組みが良い。 |
| 老人給食協力会 ふきのとう | 6 | 1 | 料理見学会 | 今までのボランティア募 集で最も効果があった。 |
| コミュニティご縁 | 2 | 1 29年：1 | 世田谷シニア学園 | |
| せたがや すまほ研究会 | 2 | 0 | iPad 講座見学 | 講師養成につながればと 思う。 |
| 野鳥ボランティア | 6 | 3 | 野鳥観察会 | 団体と受講生のマッチン グで優れたシステムだ。 面接から体験という手順 がよい。 |
| 世田谷 地域デビューの会 | 3 | 3 28年：2 29年：2 | 月例会 (私の一言) | 受講生をフォローする施 策があるとよい。 |

(3) ホームページ委員会

平成30年度「せたがや生涯現役ネットワーク」 ホームページ委員会報告書

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------|---|-----------------------|-----|---------|----|---------|-----------------------|--|--------|----------------------|--|---|---------|
| 主旨 | <p>2018（平成30）年5月に委員を公募してホームページ委員会を立ち上げ、2012（平成24）年度以来続けてきた生涯現役ネットワークのホームページの運営管理を引き継いだ。</p> <p>このホームページは、生涯現役ネットワークおよびその会員団体の活動情報を発信したり、会員団体のホームページとのリンクを張るなど、会員団体間の情報共有のツールであり、各会員団体が相互に積極的な利用を図ることにより、より活発な活動を推進することを目的としている。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 事業実績・評価 | <p>事業実績) 次の活動を行った。</p> <p>①HPの運営方針については、委員会で検討し、従来通りで行くこととした。情報収集については委員全員で担当し、HPの更新作業については、マニュアルを作り、誰でも更新作業が出来るようにした。</p> <p>②ホームページ委員会の運営規定を作成し、世話人会の審議を経て2019（平成31）年4月の総会で承認された。</p> <p>③ネットワークの活動情報や会員各団体のイベント情報を広報した。会員団体からの個別の依頼に応じてイベント情報を掲載したほか、委員各位が収集した情報を掲載した。定例的な活動については定期的に情報収集して掲載した。また区報などに掲載された情報の中から会員団体のイベント情報を得て、HPに転載した。</p> <p>④ HPを持っていない会員団体の活動や会報誌を掲載した。またHPを持っている会員団体のHPとのリンクを張った。</p> <p>⑤「大人の学園祭」について、HPによる広報と参加申込受付窓口を提供した。</p> <p>⑥ネットワークのプロジェクトのイベントについても、広報した。</p> <p>⑦世話人会や事務局から要望のあった情報を掲載した。</p> <p>⑧HPへの問い合わせについては、事務局や代表と相談して、対応した。</p> <p>評価) 2018（平成30）年度に委員会体制になり、委員が6名集まったので、委員各位の協力により、収集された情報が格段に増え、2018（平成30）年度にHPに掲載されたイベント件数は277件（前年度は218件）に増えた。また上記のように、運営規定を定め、運営体制を整備し、情報収集の強化と安定的な運営が出来るようになった。</p> <p>現在のホームページ委員は、石川令子、岡崎宏、片岡龍次、真貝高三、菅野達夫、藤田秀一の6名。（敬称略、五十音順）</p> | | | | | | | | | | | | |
| 会計報告 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; border: none;">収入</td> <td style="width: 60%; border: none;">運営費</td> <td style="width: 30%; text-align: right; border: none;">60,000円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">支出</td> <td style="border: none;">HP更新作業費</td> <td style="text-align: right; border: none;">3000円 x 12月 = 36,000円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">会議・活動費</td> <td style="text-align: right; border: none;">6000円 x 4回 = 24,000円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none; text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right; border: none;">60,000円</td> </tr> </table> | 収入 | 運営費 | 60,000円 | 支出 | HP更新作業費 | 3000円 x 12月 = 36,000円 | | 会議・活動費 | 6000円 x 4回 = 24,000円 | | 計 | 60,000円 |
| 収入 | 運営費 | 60,000円 | | | | | | | | | | | |
| 支出 | HP更新作業費 | 3000円 x 12月 = 36,000円 | | | | | | | | | | | |
| | 会議・活動費 | 6000円 x 4回 = 24,000円 | | | | | | | | | | | |
| | 計 | 60,000円 | | | | | | | | | | | |

平成30年度生涯現役ネットワーク会計報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入の部

| | |
|-------------------|-----------------|
| 前年より繰越 年会費(団体) | 218,612円 |
| ・29年度分1団体 | 2,000円 |
| ・30年度分53団体 | 106,000円 |
| ・利息 | 2円 |
| 計 | <u>326,614円</u> |

支出の部

| | |
|---------------|-----------------|
| プロジェクト支援金(3件) | 23,000円 |
| 世話人会運営費 | 26,500円 |
| ホームページ管理費 | 60,000円 |
| 計 | <u>109,500円</u> |

次年度繰越金 217,114円


(内現金3,655円 みずほ銀行預金残高213,459円)


会計担当者 世田谷環境学習会 石川令子

会計監査報告

監査の結果適正に処理され、間違いないことを認めます。

平成31年4月11日

監査 トーク会 伊東義昌 

監査 食生活安全課協会 松本 謙 

第3号議案 令和2年度補助金予算要望について

令和2年度（仮称）シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト提案書

1 事業計画書

| | |
|---------|---|
| 事業名称 | (仮称) シニアの社会参加のしくみづくりプロジェクト |
| 事業目的 | <p>地域活動の担い手発掘やシニア世代の地域社会での活躍の場を創ることを目的とし、これまで“せたがやシニア現役プロジェクト”事業が展開されてきた。これらへの参加がきっかけとなり地域活動団体への新規加入者がいる実績を踏まえ、実施手法を見直しながらさらなる事業展開を図る。</p> <p>本事業はこれまでの目的に加え、受け入れ団体となる地域活動団体のネットワークの強化に取り組みながら、シニアの地域活動や社会貢献活動への参加を促す。</p> |
| 事業内容 | <p>「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の開催</p> <p>1) 講座受講生の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生募集（1次）50名程 ・チラシ作成、配布 <p>2) 地域活動体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会（講座の概要と、地域活動の概要） ・地域活動団体紹介 ・各団体での活動体験 ・活動報告会と懇親会 <p>3) せたがや街歩き講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者有志で「せたがや街歩き」を企画 ・参加者募集（2次）30名程 ・協力スタッフの確保 ・せたがや街歩き×2回（2ルート）の実施 ・参加者交流会と地域活動団体紹介 <p>4) 活動記録の作成と生涯現役ネットワークホームページ掲載</p> |
| 実施体制 | <p>1) 本プロジェクトは、生涯現役ネットワークの世話人会が、事業計画と予算、決算などの事業責任をもって、具体的な活動はプロジェクトの実行委員会を組織し進める。</p> <p>2) プロジェクト実行委員会の構成メンバーは、生涯現役ネットワークの参加団体を主体として、区内に、生涯現役ネットワークの名前で公募する。</p> <p>3) 公募で集まったメンバーで実行委員長、副委員長、会計などの責任者を選出し、参加者の自主的な市民活動として、活動を進める。</p> <p>4) 実行委員会は定期的開催し、活動内容や進捗を生涯現役ネットワークの世話人会へ、逐次報告する。</p> <p>5) 令和2年度を初年度として、3か年の期間で本事業に取り組む。</p> |
| 事業完了予定日 | 令和3年3月31日 |

| | |
|--------------|---|
| <p>事業の効果</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1) 講座参加者が、生涯現役ネットワーク参加団体のメンバーになってくれること、また、参加者のアンケートなどで、本事業の効果を把握し、事業内容を改善するようにPDCAを回すことにより、シニアが気軽に社会参加するきっかけを作るしくみとなる。 2) 生涯現役ネットワーク参加団体が、「地域活動体験・せたがや街歩き講座」の講師やスタッフを担当することや、受講生の受け入れなどを通じて、それぞれの活動の意味を再確認し、また活動自体を広める機会とできる。 3) 講座参加者募集などで、生涯現役ネットワーク加盟団体等の協力を得て、シニアの社会参加のしくみを効果的なものにできる。 4) 講座参加者の交流イベントに地域活動団体にも参加してもらうことで、シニアの社会参加の受け皿となる生涯現役ネットワーク参加団体同士の活動を知り合い、お互いに顔の見える関係を作って、それぞれの活動を協力し合うきっかけとできる。 |
|--------------|---|

2 事業スケジュール（イメージ）

以下の日程をたたき台とし、今後も世話人会で検討を進める。

| 時期 | 内容（実行委員会も含めた素案） |
|------------|--|
| 令和元年度 | 生涯現役ネットワーク内に、準備のための企画メンバーを呼びかけて「準備会」を設け、令和2年度以降の実施方法を具体化しておきたい。検討内容は世話人会に報告する。 |
| 令和2年 4月 | 生涯現役ネットワークの世話人会におけるプロジェクトの事業計画・予算の承認 ◆（世話人会の名前で）実行委員の公募 |
| 5月 | ◆実行委員会の準備会の開催（活動の進め方、体制の確認） |
| 6月 | ◆実行委員会（第1回） ・「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の実施方法の検討 |
| 7月 | ◆実行委員会（第2回） ・「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の実施方法の確認 ・案内チラシの作成と配布 ・実施協力者・団体への呼びかけ |
| 8月 | ◆実行委員会（第3回） ・「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の参加者の募集 ・実施協力者・団体への確認 |
| 9月 | ◆実行委員会（第4回） ◆「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の参加者への説明会 ◆「地域活動体験」団体紹介イベント開催 ◆「せたがや街歩き」企画会（1） |
| 10月 | ◆実行委員会（第5回） ◆「せたがや街歩き」企画会（2） ・「せたがや街歩き」のチラシ作成と、参加者（2次）募集 |
| 11月 | ◆「せたがや街歩き」の実施×2回 |
| 12月 | ◆実行委員会（第6回） ・講座実施の状況確認、報告会、交流会の準備確認、など ◆「地域活動体験」の報告と交流会（受け入れ団体も参加） |
| 令和3年 1月 | ◆「せたがや街歩き講座」の参加者交流会 |
| 2月 | ◆「シニアの地域活動体験・せたがや街歩き講座」の報告書作成 ・実施の記録や参加者アンケートなどのまとめ |
| 3月 | ◆実行委員会（第7回） ・講座実施の振り返り（2）報告書の内容確認 |

3 事業収支予算書

(1) 区補助金該当部分

| 【収入】 | | |
|---------------|---------|-------------------------|
| 費目 | 金額 (円) | 積算内訳 |
| 補助金 | 494,000 | 支出合計額－各事業参加費 |
| 地域活動体験参加費 | 25,000 | 500円*50名 |
| せたがや街歩き講座参加費 | 15,000 | 500円*30名 |
| 合計 | 534,000 | |
| 【支出】 | | |
| 費目 | 金額 (円) | 積算内訳 |
| 1) 事業経費 | | |
| 打合せ会議費 (交通費) | 35,000 | 500円*10名*7回 (実行委員) |
| 打合せ会議室借用料 | 4,000 | 500円*8回 |
| チラシ作成 (デザイン料) | 30,000 | 地域活動・街歩き 2種類 |
| チラシ印刷費 (送料込み) | 30,000 | カラー両面A4、2000枚*2種類 |
| 地域活動体験講師謝礼 | 10,000 | 5,000円*2名 (ゲスト講師) |
| 地域活動体験謝礼 | 60,000 | 5,000円*3名*4回 (補助スタッフ) |
| 地域活動受け入れ団体謝礼 | 30,000 | 2,000円*15団体 (資料準備・交通費等) |
| 街歩き講師謝礼 | 10,000 | 5,000円*2コース (ゲスト講師) |
| 街歩き謝礼 | 40,000 | 5,000円*4名*2コース (補助スタッフ) |
| 街歩き実地調査 (交通費) | 30,000 | 5,000円*3名*2コース |
| 小計 (ア) | 279,000 | |
| 2) 共通経費 | | |
| 文具事務用品・消耗品費 | 30,000 | コピー代、インク・用紙代、その他 |
| 通信費 | 30,000 | 電信料・郵便料 |
| 企画運営管理費 | 125,000 | 各会議資料、会計業務等 |
| パンフレット作成費 | 70,000 | 生涯現役ネットワーク通年用 |
| 小計 (イ) | 255,000 | |
| 合計 | 534,000 | (ア) + (イ) |

(2) その他経費

| 費目 | 金額 | 積算内訳 |
|-------------|----|--------|
| 交流会経費 | 実費 | 予算計上せず |
| 協力団体・個人の通信費 | 実費 | 予算計上せず |

第1号報告 会員入会について

(i) 会員入会について

| 番号 | 入会承認日 | 団体名 |
|----|-----------|----------|
| 1 | 令和元年6月17日 | 世田谷砂場クラブ |

令和元年9月27日現在、56団体加入

せたがやシニア現役プロジェクト 3年間結果報告書

| 事業の名称 | 「せたがやシニア現役プロジェクト」人材グループ | | | |
|---------|--|---------|---------|---------|
| 主旨 | 平成27年4月生涯現役ネットワークの会員から公募で募った有志が「生涯現役の社会参加に向けたシニアの社会参加推進」を検討し構想を固めた。平成27年度臨時総会で承認を受け、地域活動の担い手発掘やリーダー育成の推進を行うこととなった。 | | | |
| 当初目標 | ①地域活動の担い手となる人材発掘と育成 90人×3年=270名 ②地域活動体験によるリーダーの育成 30人×3年=90名 | | | |
| 評価の視点 | 事業参加を契機に、参加者が各団体に加入し活動に参加しているか、各団体の地域活動の仲間が増えたか、地域活動のリーダーとなり得る人材の育成はできているか。 | | | |
| 事業内容 | 平成28年度：①仲間づくりを通じて地域活動の担い手を発掘する。座学、まち歩き、振り返りを1セットで45人×2回=90人。②地域活動団体へのヒアリングと課題発見、解決に向けて活動し、リーダーを育成する。30人×1回=30人 平成29年度：①まち歩きを通じた40歳からの仲間づくりと人材発掘。1セット45人×2回=90人。②地域活動団体へのヒアリングと課題発見を通じてリーダーを育成する。1セット30人×1回=30人 平成30年度：①まち歩きを通じた「40歳からの仲間づくり」を前面に押し出した人材発掘と育成。1セット40人×2回=80人。②地域活動団体訪問を通じて主体的に参加する人材の発見と育成。30人×1回=30人 | | | |
| 予算額・執行額 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 予算 | 939,500 | 994,000 | 999,500 |
| | 執行額 | 892,820 | 854,282 | 828,893 |
| 実施結果・評価 | 平成28年度：①参加者52名、延べ参加者227名。 ②参加者16名、延べ参加者88名。 年間参加者68名、年間延べ参加者315名。 平成29年度：①参加者33名、延べ参加者144名。 ②参加者17名、延べ参加者60名。 年間参加者50名、年間延べ参加者204名。 平成30年度：①参加者46名、延べ参加者120名。 ②参加者23名、延べ参加者78名。 年間参加者69名、年間延べ参加者198名。 3年間参加者187名、3年間延べ参加者717名 | | | |
| 3年間の総括 | ①OB会を初年度から作り、2、3年度もそれぞれOB会を結成して活動している。講座受講生が本講座をきっかけで立ち上げた団体が生涯現役ネットワークに加盟した事例もある。 ②人材の育成として2年目から講座OBに実行委員へ参加してもらい、受講体験をふまえた企画づくりに取り組んでもらった。 ③卒業生は各講座を通じて多くの団体のメンバーとなり、幅広く活動している。 今後も地域活動を行うメンバーを着実に増やし、ともに活動していく中で「経験」を積み、次の担い手、リーダーを育成していく必要があると考える。 | | | |

せたがやシニア現役プロジェクト3年間結果報告書

| | | | | |
|---------|---|---------|---------|---------|
| 事業の名称 | iPadアドバイザー養成講座 | | | |
| 主旨 | 区民の皆さまに広くIT利活用を手段として、豊かなシニアライフを目指し、そのIT利活用へのアドバイスができる人材育成が必要と考えた。特にシニアの社会参加促進のためにターゲットを絞り、最も機能的で使いやすく理解しやすい機種選定をした結果、iPadによるアドバイザー養成講座を企画した。 | | | |
| 当初目標 | 毎年10名程度を目標にし、3年間で30名確保を目指した。 | | | |
| 評価の視点 | 目的はある種のプロボノ集団をつくることを意図した。それもシニアによるシニアのためをコンセプトとして、この趣旨をどのくらいシニアの方が理解して講座に参加されるかをポイントにおいた。 | | | |
| 事業内容 | <p>平成28年度： 最初に募集方法としてチラシ作成。このチラシを区の施設約100ヶ所に配布した。同時進行で区に依頼して、世田谷区報に掲載した。初年度でもあるので知人等にも積極的に声かけした結果、目標人員はオーバーした。目標人員10名 実績14名 4日間 8講座で実施。</p> <p>平成29年度： 昨年同様に募集活動を実施した。講座内容もテクニク的な内容から、少し教えることの難しさへとシフトした。目標人員10名 実績12名</p> <p>平成30年度： 昨年同様に募集活動を実施した。参加者も回を重ねるごとに受講者のレベルが上がってきた。ほとんどの受講者はPC操作には問題ないひと達で我々が目指しているプロボノ集団になれるものと思われた。目標人員は10名 実績は23名</p> | | | |
| 予算額・執行額 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 予算 | 398,500 | 341,000 | 247,500 |
| | 執行額 | 414,100 | 313,440 | 310,000 |
| 実施結果・評価 | <p>平成28年度： 本講座は有料、一人6千円で設定した。果たして募集はどうであろうか危惧をしていたが、企画内容がしっかりしていれば、内容を理解してもらえたのではないかと思っている。目標は達成できた。(質の確保からみれば、ある程度高額料金設定が有効なのではないか)</p> <p>平成29年度： 昨年度である程度予測ができたので、講座内容の充実に力をいれた。昨年度より受講生のレベルが少し上がった。目標も達成できた。</p> <p>平成30年度： 募集状況は大変よい。この活動も浸透してきた感があった。本企画時に意図した内容に即した受講生が多くなった。</p> | | | |
| 3年間の総括 | 企画した当初目的は達成したが(目標人員30名実績49名)、今後の課題として、どういう形でプロボノ集団をつくり活動してもらえるかを取り組まなくてはならない。活躍の場所として、今現在はすまほ研究会のiPad講座やiPadカフェ、町会自治会向けHP支援のiPad講座などに戦力として活動参加している。今後は独自の講座や研究会などして対応できる範囲を広げる必要があるものと思われる。本事業で大きな人的資源を確保できた。シニアの社会参加のモデルになるのではないのでしょうか。 | | | |

せたがやシニア現役プロジェクト3年間結果報告書

| | | | | |
|---------|---|----------|----------|----------|
| 事業の名称 | プラットフォームの作成(「せたがや暮らし」略称「せたくら」) | | | |
| 主旨 | シニア世代が世田谷区で生活し活動する時に役立つ情報を、スマホタブレットなどの携帯端末を使って、簡単に検索し活用できる情報基盤を構築し、もってシニア世代の社会参加を促すようなシステムを提供する。 | | | |
| 当初目標 | 世田谷区には「世田谷オープンデータ」など、膨大な情報が蓄積されているが、利用者にとっては必ずしも簡単に検索して欲しい情報を入手できるものとは限らない。そこでシニア世代の情報活用に特化して、どこにいてもその時のニーズに基づき必要な情報を入手するための、使いやすさを追求したシステム開発を目指した。 そのためにパソコンだけではなく、携帯性に優れたスマホタブレットとGPS(位置情報)を用いて、外出中もその場で手持ちの携帯端末で情報検索できるような情報基盤の構築と区民に向けての提供を目標においた。 | | | |
| 評価の視点 | 開発した情報基盤の、利用者にとっての使いやすさと活用性、および利用度普及度。 | | | |
| 事業内容 | <p>世田谷区在住のシニア世代によるプロジェクトと、世田谷区に本社を持つ日本ダイナミックシステムズ社(NDS)との協働により、下記の手順で基盤構築を行った。システム開発に関わる作業は、業務委託契約に基づき、NDSに委託して行なった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [要件定義]シニア世代の通常の生活や地域における活動をモデル化して、役立つ情報の定義とそれを提供しているインターネットメディアを調査した。 2. [デザイン]情報提供元のメディア、特に世田谷オープンデータやGoogleなどの検索エンジン、さらにバス会社の提供する時刻表などのインターネットメディアの情報を、一元化した操作で検索できるようなシステムのデザインとプロトタイプ開発を行った。 3. [Webアプリ開発]そのデザイン仕様を元に、まずパソコン上でのWebシステムを作り、その操作性や有用性などを検証して、改善点を確認した。検証方法は、世田谷生涯現役ネットワーク会員へのアンケートや、スマホタブレット講座出席者の利用感など。それを踏まえて改修して正式版を公開した。 4. [携帯端末アプリ開発]Webアプリの仕様を元に、スマホタブレット向けにアプリ化して公開提供し、本格的な携帯端末による情報検索活用のできる環境にレベルアップした。 5. [PR活動]PR用の専用チラシ作成と世田谷区内の主要施設への配布、大人の学園祭のイベントでの紹介、せたがや生涯現役ネットワーク加盟団体による講座での紹介と使い方演習など。 6. [運営]現在世田谷シニア現役プロジェクトにて自主運営している。 | | | |
| 予算額・執行額 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 予算 | ¥683,000 | ¥630,500 | ¥620,500 |
| | 執行額 | ¥690,400 | ¥628,184 | ¥619,616 |
| 実施結果・評価 | <p>平成28年度: NDSを含めたプロジェクトメンバーの会議を重ねて、上記1.[要件定義]および2.[デザイン]の局面に関わる作業を進めた。またその傍ら、NDSとの業務委託契約を行い、管理運営体制も定義した。この年度の成果物として、「プラットフォームの仕様書」と、それに基づき「システムプロトタイプ版」が作成された。会議18回、各々参加者5名～10名。プロジェクトメンバーがアイデア出しをして、仕様書作成とプロトタイプ開発作業は、業務委託契約に基づきNDSが行なった。</p> <p>平成29年度: 3.[Webアプリ開発]まず前年度の成果物であるプロトタイプの実用性の検証をプロジェクトメンバーで行い、都度改修をしながら9月のNW臨時総会でNWメンバーに公開してアンケート配布を行なった。そこで何点か極めて辛辣なコメントが寄せられ(例:ID登録とログイン方法など)、これを元に大幅な仕様変更を余儀なくされた。さらにアンケート結果を踏まえて更なるシステムの改修を行い、2月の大人の学園祭で正式版として公開した。またこの時期に、5.[PR活動]としてチラシを作成し、世田谷区全域の主要施設に配布した。会議12回、各々参加者5名～10名。開発作業はNDSにて行い、成果物はパソコン上で使用するWebアプリの正式版。</p> <p>平成30年度: 前年度の成果物、Webアプリの正式版のデザインを踏襲して、4.[携帯端末アプリ開発]に取り組んだ。携帯端末としてiOSおよびAndroidの二つのプラットフォームに対応させて、利用者は両者の配布サイトからダウンロードして自分の携帯端末に導入できるようにし、これで当初の開発目標を達成した。会議9回、各々参加者5名～10名。開発作業はNDSにて行い、成果物は携帯端末上で使用する専用アプリの正式版(iOS、Android)。5.[PR活動]として、チラシ配布、スマホタブレット講座での紹介、そして大人の学園祭でステージでの実演を行なった。 3年の期間を経て当初の目標は達成できたものの、新たなレベルアップの要求事項が見えてきて、まだ道半ばの感を持っている。そして区民への告知や認知度向上も不十分で大きな課題を残している。</p> | | | |
| 3年間の総括 | <p>3年間の期間を通してプロジェクトメンバーとNDSとの協働で、「せたがや暮らし」システムを構築し、運用体制を数ヶ所までやり遂げた。シニア世代向けということで機能を絞り込み、使いやすさを追求して携帯端末にも装備できるようにしたのは当初の目論見通りだった。しかし今回開発したのは情報検索を主としたシステムだったので、区民の日常生活の中で使われる情報基盤としては、まだ役不足は否めなかった。区民により役立ててもらうためには、このシステムを土台として、日常生活習慣に密着して使われる機能を付加する必要性が見えてきた。 付加機能として「見守り機能」などが提唱され、それを開発するための二次構想が提唱されたが、補助事業期間が終了して開発予算が残っておらず、現在未着手状態にある。またシステム運用もプロジェクトの自主運用状態で、現在4年目の延長予算の中で続けられている。 これを区民の日常生活情報基盤として定着させるために、開発資金と来年度以降の運用資金の調達、そして二次構想の開発体制の確立が今後の課題として残った。 プロジェクトの総意としてまだ完成途上の感が大きく、今後も開発を重ねてよりレベルアップしたシステムを実現したいという願いを残している。</p> | | | |

せたがやシニア現役プロジェクト3年間結果報告書

| 事業の名称 | 地域活動団体のHP作成支援 | | | |
|---------|--|-----------|-----------|---------|
| 主旨 | <p>既存HPのない地域活動団体を対象に、モデル的なHPを作成し、それを基に、地域団体のスタッフと一緒にHP作成支援を行いながら、HPの更新作業の仕方を伝え、併せて団体役員を中心にタブレット(iPad)講座を開くことにより、HPを通じて団塊世代など新たなシニア層のさらなる活動参加を促進する。</p> | | | |
| 当初目標 | <p>地域活動団体として、身近な町会とNW団体を対象に、3年間で合計6団体を対象に、HP作成支援を実施する。支援にあたっては、HPを開発している町会やNW団体にヒヤリングして、特徴をまとめ、2種類のモデルHPを作成する。このモデルHPを基に各団体向けのHP素案を作り、それを教材として、PC講座を開催して団体スタッフが自立的に更新作業ができるまでに丁寧に教える。テキストも詳しいものを用意して、今後にも利用してもらう。またHPを作成した後は、団体役員向けにタブレット(iPad)講座を開催して、HPを随時閲覧してもらい、情報共有、コメントを出してもらえるようにする。</p> | | | |
| 評価の視点 | 支援した団体の数、作成したHPの完成度(質の良さ・情報量など)、HP更新の頻度など | | | |
| 事業内容 | <p>平成28年度： 地域活動団体として町会・自治会を対象とし、町会HPのヒヤリングの実施とHP未開設の町会(2カ所を予定)選んでHP作成支援を行う。 ①ヒヤリングについては、8町会が応じてくれ、このヒヤリング結果をまとめて、町会向けのモデルHPを作成した。 ②HP作成支援については、4カ所から応募があり、抽選で経堂北町会を選定。 HP作成にあたっては、作成用ソフトとしてJimdoを採用し、モデルHPと経堂北町会向けHP、併せてマニュアルHPを作成した。マニュアルHPは練習用としてJimdoに慣れてもらうために使った。PC講座(4日間8講座)では、ポイントを記載したテキストを作り、モデルHPを基に説明し、自分たちで更新できるよう、実際に操作を体験していただくことを主に講座を進めた。</p> <p>平成29年度： 本年度は、昨年落選した2町会を対象にする予定であったが、辞退されたため改めて募集したが、応募が1町会(大原北町会)だけであったので、ネットワーク参加団体にも声をかけ、2団体(地域デビューの会、スポーツ吹き矢連盟)も対象に加えて実施した。NW団体のHP作成支援にあたって、HP開設団体のヒヤリング(10団体)を行い、団体向けのモデルHPを作成した。PC講座は4日間8講座を実施。</p> <p>平成30年度： 本年度は、2町会を対象にする予定であったが、応募者が4町会(宮坂3丁目町会、玉川田園調布会、中町4.5丁目町会、代沢中町町会)に増えたため、日程・予算を組み合わせることでPC講座を3日間6講座としたうえで、4町会を対象とした。</p> | | | |
| 予算額・執行額 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 予算 | 1,399,500 | 1,129,500 | 964,000 |
| | 執行額 | 1,119,499 | 644,400 | 929,000 |
| 実施結果・評価 | <p>平成28年度： 応募のあった経堂北町会は、会長がITに詳しいこともあって、予想以上に素晴らしいHPができあがった。HPソフトとしてJimdoを採用したが、講座を実施してみて、使いやすいソフトであることを実感した。また講座を4日間8講座開催したが、PCに慣れた人であれば、これで十分であることも分かった。</p> <p>平成29年度： 応募された大原北町会を対象に、昨年同様、PC講座(4日間8講座)を実施した。当方で用意したHP素案を基に町会スタッフと一緒に改良しながら、HP更新作業の仕方を学んでいった。 生涯現役NWの参加団体に対するHP作成支援については、地域デビューの会とスポーツ吹き矢連盟を対象に、PC講座(4日間8講座)を実施し、HPを完成していった。運用の状況をみながら、フォローアップの講座を設けた。</p> <p>平成30年度： 応募のあった4町会(宮坂3丁目町会、玉川田園調布会、中町4.5丁目町会、代沢中町町会)を対象に、3日間6講座のPC講座を実施した。当方が用意したHP素案を町会スタッフと一緒に改良し、仕上げていった。</p> | | | |
| 3年間の総括 | <p>3年間で支援した町会・自治会は6カ所、NW団体は2団体、計8団体になった。特に3年目に一挙に4町会が応募してきたことは、漸くITグループの活動が周知されてきたためと思われる(実際4年目になって、さらに4町会が応募してきたことから、周知されてきたことが窺える)。 この8団体の内、1団体を除いて、頻繁に更新されていて、内容が常に最新のものになっている。活動を示す写真も豊富であり、HPとしての完成度が高い。各団体のスタッフはよく勉強しており、時折質問があるが、自立して運営できている。 総じて当初の目標は量的にも質的にも達成したといえよう。現在4年目に入って4団体のHP作成支援をしているが、願わくば来年度以降もプロジェクトを継続していただきたい。</p> | | | |

せたがやシニア現役プロジェクト3年間結果報告書

| | | | | |
|---------|---|---------|---------|---------|
| 事業の名称 | 地域活動団体のiPad支援 | | | |
| 主旨 | <p>町会・自治会は地域コミュニティーの中核であり、街づくりを担い、地域の課題解決が求められる組織である。しかし問題は地域活動団体の役員に高齢者が多く、地域住民の高齢化とコミュニケーション手段が伝えられない現状である。そこで、高齢者にも使いやすいiPadの利用に関する講座を開くことにより、顔の見える地域社会が出来る。iPad講座を通して社会・地域の情報を共有し住民同士と町会役員とをつなぎ、迅速なコミュニケーションが取れるよう仕組みを促進する。</p> | | | |
| 当初目標 | <p>情報検索に不慣れな地域活動団体の高齢者を対象にiPadに慣れることから始め、必要な情報を簡単にアクセスできるように、本プロジェクトで開発した検索アプリ（せたがや暮らし）、地域防災、HP閲覧等々が検索できるようにiPad講座を開講した。ITを活用し町会・自治会に対する意識を高め、地域の中でも豊かなシニアライフを送ってもらうために、iPad講座をHP作成後に実施し、生活安全やお出かけに資する情報を提供することにより、シニアの社会参加促進を支援する。</p> | | | |
| 評価の視点 | 独自のカリキュラムによる町会・自治会における「iPad講座」の支援内容、情報提供の多さ等々 | | | |
| 事業内容 | <p>平成28年度： 経堂北町会のHP支援が決まり、「iPad講座」は町会・自治会の役員を主とした超初心者という設定で、HPを立ち上げ後、iPad（10台の貸出機有）やスマホでHPが閲覧でき町会・自治会が身近な存在となるよう講座を企画した。「iPadは面白い」と思ってもらえることを主として、テキストはポイントのみを記すことにした。講座は4回（8講座）開催、定員は10名程度募集。</p> <p>平成29年度： 本年度は大原北町会に決まり、やはり、初心者、シニアむけにiPadを貸出して「iPad講座」を行う。今回のカリキュラムでは、難しいことは言わずに、iPadの面白さを実感していただくことを主眼において講座を進めることとした。講座は3回（6講座）開催、定員は10名募集。</p> <p>平成30年度： 本年度はHP支援が4町会（宮坂3丁目町会・玉川田園調布会・中町4.5丁目町会・代沢中町会）となり、基本操作から始まり各町会のホームページをiPadで閲覧してもらう工程を3回（6講座）、合計12回（24講座）の講座を行うことで、資料も検討しながら進めた。</p> | | | |
| 予算額・執行額 | | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | 予算 | 535,000 | 787,500 | 544,000 |
| | 執行額 | 341,820 | 190,680 | 566,720 |
| 実施結果・評価 | <p>平成28年度： 「iPad講座」は経堂北町会の活動場所、経堂地区会館にて1月25日～2月22日まで4回の講座を実施、受講者は15名であった。延54名が参加、計画人数よりも参加者が多くなった。貸出用iPadに事前に必要なアプリをインストールし事前の準備をしたおかげで、講座の進行がスムーズに行えた。予想以上の反響だった。</p> <p>平成29年度： 本年度の「iPad講座」は大原北町会の活動場所である大原北町会会館にて3月4日～3月25日まで3回の講座を実施、参加者12名延34名の参加があった。カリキュラムとしては基本は前年と同じで、講義を少なく、実際にiPadを体験してもらう時間を長くし、詳しくは別途すまほ研のiPad講習会などがあることを周知してiPadの面白さを実感してもらった。</p> <p>平成30年度： 「iPad講座」は4団体合計で参加者35名、延人数103名でした。宮坂3丁目町会は1月19日・1月26日・2月9日の3回（6講座）経堂まちづくりセンターにて開催、役員の方と町内の方が参加、「使い方が分からないので勉強出来て良かった」とのこと。代沢中町会は1月29日・2月5日・2月12日の3回（6講座）代沢まちづくりセンターにて開催、近くのスーパーのアプリが好評だった。中町4.5丁目町会は2月26日・3月5日・3月12日の3回（6講座）中町ふれあいの家にて開催、町会独自にiPad講習会のチラシを作り町内に周知してくれたので貸出機も足りないぐらいの人が集まり大盛況だった。ゲームをしたりニュースを見たり「家で寝ている主人にiPadを買って脳トレをさせたい」「ゲームでこんなにはしゃいだのは何十年ぶり？楽しい」「まだまだ教えてほしい」と色々な声をいただきました。玉川田園調布会は12月9日・12月16日・12月23日の3回（6講座）玉川田園調布町会会館にて開催、iPadを持参の方が多く、せたくらアプリの紹介、世田谷区防災メール配信サービスをインストールしたが、「知らないことが多かった」とのこと。各々の町会ごとに基本の資料・貸出機の点検と町会の特徴を把握し、講座に臨みました。</p> | | | |
| 3年間の総括 | <p>町会・自治会のiPad講座ではスマホの講習会もしてほしいとの要望も出ました。今回の3年間で、私たちの作成した独自の資料を他団体で参考にしてもよいか等々の話もあります。試行錯誤しながらも作成したわかりやすくおもしろい資料等が評価に値すると思います。当初の目標は予想を上回り、十分な達成ができています。講座回数は19回（38講座）受講生62名延人数191名。今後は一人でも多くの町会・自治会の役員・町内会の方々が世田谷区HP、区のアプリや東京都防災アプリ・せたくらアプリ等で情報の取得・活用ができるように、またアクティブに動けるよう支援するために、プロジェクトの継続を願います。又、区の施設にWiFiの導入が必要ではないかと思いました。</p> | | | |

第3号報告 令和元年度せたがやシニア現役プロジェクト中間報告について

| 令和元年度「せたがやシニア現役プロジェクト」実施報告書 | |
|-----------------------------|---|
| 事業名 | 「40歳からの仲間づくり大作戦！！」 |
| 趣旨 | 定年前の世代から「まち歩き」を通じた仲間づくりと地域活動の人材発掘 |
| 実施内容 | <p>【周知方法】 5/1区報掲載、まちづくりセンター等ちらし配架</p> <p>【応募者数】 32名</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 6/1 (第1回) 26名出席 (参加者18名 スタッフ8名) 活動団体の紹介、まち歩きコースの案内、グループに分かれて参加者の自己紹介 ● 6/8 (第2回) 31名出席 (参加者24名 スタッフ7名) グループに分かれてまち歩きの説明、近隣まち歩き体験、まち歩き時の注意事項説明 ● 6/15 (第3回) 23名出席 (参加者16名 スタッフ7名) アンゴラ共和国大使館訪問コース、大使館職員よりアンゴラ共和国の紹介、参加者との質疑応答、雨天のため一部コース変更あり ● 6/22 (第4回) 20名出席 (参加者16名 スタッフ4名) 二子玉川～兵庫島バードウォッチングコース、野鳥ボランティアによるガイドあり、終了後に参加者同士でランチ会開催 ● 6/29 (第5回) 21名出席 (参加者18名 スタッフ3名) 三軒茶屋～下北沢の美味しい穴場めぐりコース、一人では遠慮していたが、仲間と一緒に立ち寄ることで味わう楽しさを体験 ● 7/6 (第6回) 18名出席 (参加者12名 スタッフ6名) 玉川大師～等々力溪谷散策コース、玉川大師の地下霊場参拝やガイドをしてもらいながらの等々力溪谷散策、終了後に参加者同士でランチ会開催 ● 7/13 (最終回) 21名出席 (参加者14名 スタッフ7名) まち歩き報告会、仲間づくりミーティング、連絡先を交換し8月の食事会を企画 |
| 今後の展開 | 昨年参加者だった方が、今回は企画者として活動に加わった。このような繋がりを広げていきたい。今回の参加者の中に「地域活動をしてみたい」との声もあり、9月7日からの別事業「地域活動体験講座」への参加を呼びかける。地域活動への興味や参加に繋がるよう、参加者と連絡先を交換し交流を続けている(8月に食事会を実施)。 |
| 経費 | 335,000円(今年度予算額) |

《グループでの作業風景》



《アンゴラ共和国大使館》



《二子玉川～兵庫島》



《等々力溪谷》



令和元年度「せたがやシニア現役プロジェクト」中間報告書

| | |
|-------------|---|
| <p>事業名</p> | <p>「町会ホームページ作成支援」「iPad アドバイザー養成講座」 「プラットホームの作成（せたがや暮らし）」</p> |
| <p>趣旨</p> | <p>町会や団塊世代などの新たなシニア層のさらなる地域活動への参加を促進する。</p> |
| <p>実施内容</p> | <p>●町会ホームページ作成支援 【募集】4月の町会総連合会役員会での説明を経て区内全町会・自治会に募集チラシ・案内郵送。 【応募数】4団体（赤堤1丁目町会、桜丘1丁目町会、松原5・6丁目自治会、桜上水ガーデンズ団地管理組合法人） 【実施状況】 4月末に全町会自治会宛に郵送にてHP作成支援募集通知をした。 5月末締め切ったところ、4団体から申込みがあった。予定は3団体であったが、来年度は実施できないので、本年度予算のやり繰りをして4団体実施することにした。 打ち合わせも順調に進み、9月末からHP作成更新講座が開始できる予定である。またHP完成後に、主に町会役員向けにHP閲覧用iPad講座を開く予定である。</p> <p>●iPadアドバイザー養成講座 【募集】6/1区報に掲載、まちづくりセンター等に募集チラシ配架 【応募者数】10名 【実施状況】今年度は各講座を「説明とワークショップ」で構成した。 7/01（第1回）9名出席 1.講師の心構え、iPadの基本+ワークショップ 2.写真講座+ワークショップ 7/14（第2回）9名出席 1.メール講座 初心者向け講座の内容説明+WS 2.インターネット編 講座内容説明+WS（主にサファリの利用法を中心に） 7/21（第3回）9名出席 1.HPとせたくら関係の講座 2.様々なアプリの紹介 7/28（第4回）10名出席 1.防災関係、SIMについて 2.設定について+WS 3.講座終了後の今後の活動の場について</p> <p>●プラットホームの作成（せたがや暮らし） すまほ研の講座などに「せたくら」の利用法を組み入れて、活用促進を行っている。 ITGメンバーで会合を開き、問題点などを検討している。制度上の問題とし</p> |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|----------|------------|----------|------------|----------|----------|-------------|----------|----------|
| | <p>て、現在のアプリはアンドロイド系のバージョン8以上対応となっているが、まだ利用者の多いバージョン7でも使えるように改修できるか、NDS に検討依頼している。</p> <p>利用促進策として、改めてチラシを作成し、各団体や区施設等に配布予定。</p> | | | | | | | | | |
| 今後の展開 | <p>iPad アドバイザー養成講座については、昨年度までの受講者が、今回は講師補助として活動に加わった。このような繋がりを広げ、地域での活躍の場をつくっていききたい。</p> <p>シニアのプロブノ集団として社会参加を促進したい。</p> <p>町会HP作成支援では、実施4年目で応募数が増え、HP作成後の頻繁な更新など順調に運営していることから、事業が安定してきたと実感しており、来年度以降も本事業の継続を強く希望し、その手法などを模索する。</p> | | | | | | | | | |
| 経費 | <table> <tr> <td>HP作成支援</td> <td>1,172,000円</td> <td>(今年度予算額)</td> </tr> <tr> <td>アドバイザー養成講座</td> <td>235,500円</td> <td>(今年度予算額)</td> </tr> <tr> <td>プラットフォームの作成</td> <td>150,000円</td> <td>(今年度予算額)</td> </tr> </table> | HP作成支援 | 1,172,000円 | (今年度予算額) | アドバイザー養成講座 | 235,500円 | (今年度予算額) | プラットフォームの作成 | 150,000円 | (今年度予算額) |
| HP作成支援 | 1,172,000円 | (今年度予算額) | | | | | | | | |
| アドバイザー養成講座 | 235,500円 | (今年度予算額) | | | | | | | | |
| プラットフォームの作成 | 150,000円 | (今年度予算額) | | | | | | | | |

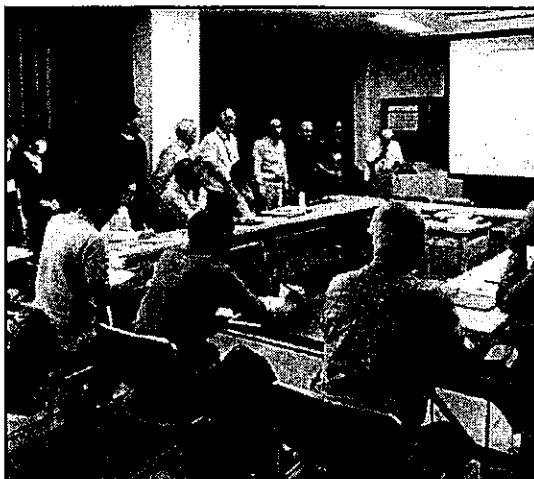
《町会ホームページ作成支援の交流会》

昨年度までに支援した町会の交流会を実施した。JIMDO において最新情報などをお話していただいた。JIMDO 担当者より：皆様が、思っていた以上にしっかりとホームページを運営していらっしゃって驚きました。



《iPad アドバイザー養成講座修了者の交流会》

いままで受講された方に今後の活動の在り方を考える趣旨で集まっていたいただいた。プログラミングの勉強会を始めませんかという意見もありました。



第4号報告 令和元年度イベント「大人の学園祭」について

平成31年4月5日に開催された「平成31年度 せたがや生涯現役ネットワーク総会」で承認された表題の件について、イベント実行委員会における検討状況を、以下のとおり報告する。

1 タイトル「大人の学園祭」 テーマ「環境とまちづくり」

2 イベント概要

- ・目的 生涯現役をめざす人の生きがい形成と地域参加のきっかけづくり
- ・日時 令和2年2月16日(日) 10時00分～16時00分
- ・場所 成城ホール(定員397名)及び4階集会室

3 イベント内容(予定)

①1階入り口会場の物品販売

10時00分～15時00分

②ホール舞台でのパフォーマンス

10時30分～13時00分(5団体、1団体30分)

③講演会 14時00分～15時00分(開場は13時30分から)

講演者:今井 通子氏

④集会室

展示、テーマコーナー、団体活動紹介など

4 その他

・広報活動 区のおしらせ12月15日号(予定)、ポスター・チラシの配布、参加団体等を通じた広報

・令和元年度実行委員

実行委員長

兜山 好直(世田谷区健康体操連盟)

秋山 宜興(ひだまり文化研究会)

石川 令子(世田谷環境学習会)

白井 達郎(世田谷地域デビューの会)

内山賢次(食・生活・安全未来協会)

景山 香代(劇団・せたがや創作紙芝居)

片岡 龍次(トーク会)

清志水 凡从([ご当地]家族会)

多田 和夫(NPO法人 えこひろば)

長谷川 宏(生きがい世田谷の会)

藤田 秀一(せたがやすまほ研究会)

松本 富美子(食・生活・安全未来協会)

山根 明(NPO法人 シニアSOHO世田谷)

